

北炭夕張新炭鉱竖坑と繰込所



# 北炭夕張新炭鉱災害から40周年を迎えて

—1981年10月16日から「時」は静かに流れて—

2021年

**10月15日** 金 13:00~17:00  
(エクスカージョンあり)

事前申込制  
定員 50名  
無料

**16日** 土 10:00~16:30

会場◆夕張市拠点複合施設「りすた」  
多目的ホール

夕張市南清水沢4丁目48番地12 TEL 0123-57-7711

## ◆講演者

萩原 義弘 (写真家・日本大学芸術学部)  
鮎沢 潤 (福岡大学理学部)  
小島 伸夫 (元 NHK 札幌局ディレクター)  
水島 久光 (東海大学文化社会学部)

## ◆エクスカージョンガイド

安部 秀一 (元 北炭夕張新炭鉱鉱員)

## ◆写真パネル・資料展示

10月14日(木)~17日(日)  
「りすた」展示ギャラリー・待合スペース

## ◆オンライン配信予定 (一部のプログラムを除く)

主催 夕張地域史研究資料調査室  
共催 一般社団法人清水沢プロジェクト

後援 夕張市教育委員会・北海道産業遺産学会・全国石炭産業関連博物館等研修交流会

新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、  
プログラムが変更となる可能性があります。

詳細は裏面をご覧ください

# 北炭夕張新炭鉱災害から40周年を迎えて

—1981年10月16日から「時」は静かに流れて—

## 開催趣旨

1981年(昭和56)10月16日午後0時41分に発生した、北炭夕張炭鉱(株)夕張新炭鉱の災害から今年で40周年を迎えます。犠牲者93名を数えたこの災害は戦後の国内炭鉱で発生した災害では3番目となる大きな災害となり、地元夕張の地域に与えた影響は大きく、また第6次石炭政策から第7次石炭政策に向けての石炭産業収束に向けた再編期にあった国内の石炭産業全体にもこの災害は影を残しました。

それから40年。この間、1987年(昭和62)には北炭真谷地炭鉱が閉山し、1990年(平成2)の三菱南大夕張炭鉱の閉山を最後に、夕張に残っていたすべての炭鉱が姿を消しています。

国内・道内でも有数の生産量を誇る産炭地域として歩んだ夕張市は、1890年(明治23)以来100年間にわたる石炭の町の歴史を閉じることとなりました。その後、2007年(平成19)には夕張市は財政再建団体となり、現在も再生団体からの脱却へ向けた、長い歩みが続けられています。

2011年(平成23)には、夕張地域史調査室、東海大学文学部(当時)水島ゼミなどが中心となり、炭鉱災害の悲惨さやその影響を語り

継ぐために、同年9月から10月にかけて連続した、夕張新炭鉱災害から30年を振り返る映像ワークショップと、当時の鈴木直道夕張市長、北海道放送(HBC)「地底の葬列」の制作ディレクター後藤篤志さんと記者の田端智博さん、NHK「地の底への精霊歌」の今野勉さん(テレビマンユニオン)などを交えた、2日間のシンポジウムなどを開催しました。

10年を節目に刻んできた、40周年を迎える今年、改めて炭鉱災害の歴史の中で犠牲となった人々を後世に「語り継ぐ」ための機会といたく、講演や映像の上映、写真パネルと資料展示などで40年を振り返ります。

「時」の流れは速く、当時の夕張新炭鉱関係者や報道関係者なども相次いで鬼籍に入り、人口も1981年当時の4万人から今年7千人まで減少しています。10月16日の夕張新炭鉱災害を知る人や、記憶を伝える人達も今は数少なくなりました。今回の集まりの中で、夕張新炭鉱災害とその後の出来事など、当時の夕張や人々の姿を、基点となったこの災害から見詰め直してみたいと思います。

## プログラム ※申し込みが必要です

### ◆10月15日(金)

- 13:00 開会・オリエンテーション
- 13:30 講演①「災害から40年間の定点観測」 萩原 義弘
- 14:30 エクスカーション(新鉱通洞・住宅地・慰霊碑等)
- 16:10 映像『廃山—夕張新炭鉱の崩壊』 解説:水島 久光  
NHK、1984/2/20、50分
- 17:00 初日閉会

◆司会進行:谷本 侑喜代(元NHK札幌キャスター・アナウンサー)

### 10月14日(木)~17日(日)「りすた」ギャラリー展示

1981年の災害発生直後から夕張に長期間滞在し、この災害の撮影を続けた日本大学芸術学部学生3人の写真作品、北炭夕張新炭鉱関連資料、新聞スクラップ等、石炭博物館の収蔵資料を展示します。

### ◆10月16日(土)

- 10:00 開会・オリエンテーション
- 10:05 厚谷 司夕張市長の挨拶
- 10:30 講演②「炭鉱の災害はどのように生かされたか」 鮎沢 潤
- 11:30 映像『1983年の夕張炭山祭り—新鉱再建への願い』  
解説:小島 伸夫 1983/5/11、22分
- 12:00 休憩 ※希望者にはお弁当(600円程度)を手配します。
- 13:00 講演③「廃山—夕張新炭鉱取材記」 小島 伸夫
- 14:00 休憩
- 14:15 映像『時をつなげ!夕張・激動20年のリレー』  
解説:水島 久光 HBC、2008/12/31、48分
- 15:00 講演④「夕張新炭鉱災害の記憶と映像」 水島 久光
- 16:00 全体質疑
- 16:30 閉会

## 講演内容

### 講演①15日 13:30~14:30「災害から40年間の定点観測」 写真家・日本大学芸術学部 萩原 義弘

北炭夕張新炭鉱の災害直後から、以後40年間にわたり夕張での撮影を続けてきた、写真家 萩原義弘氏の夕張作品と、そのスライドに写された40年の夕張の変化を中心とした内容での報告。

### 講演②16日 10:30~11:30「炭鉱の災害はどのように生かされたか」 福岡大学理学部助教 鮎沢 潤

長く石炭地質を中心に研究を続けている福岡大学の鮎沢潤先生から、炭鉱で災害が起こる理由、先人はそれをいかに克服してきたのか、鉱山災害防止の科学と技術は、どのように活かされていくかなど、主に九州・中国地域の実例を基にした内容での報告。

### 講演③16日 13:00~14:00「廃山—夕張新炭鉱取材記」 NHKグローバルメディアサービス 特別業務主幹 小島 伸夫

北炭夕張新炭鉱災害当日から廃山に至るまで、NHK札幌局で報道番組の制作を担当していた小島伸夫氏から、取材経験をもとにヤマの足跡を辿り、夕張新鉱が開鉱から7年で崩壊した要因について報告。

### 講演④16日 15:00~16:00「夕張新炭鉱災害の記憶と映像」 東海大学文化社会学部教授 水島 久光

夕張の映像資料について、東海大学水島久光先生から夕張新炭鉱災害から28年後に制作された映像『時をつなげ!夕張・激動20年のリレー』(50分)と、前日の『廃山—証言・北炭夕張の崩壊—』(50分)など、これまでの夕張新炭鉱災害に関連した番組などについての報告。

### <第45回鹿ゼミエクスカーション> 15日 14:30~16:00 ガイド 安部 秀一

夕張新炭鉱に勤務し夕張新炭鉱災害に遭遇した安部秀一さん(83)から、災害発生当時の様子などのガイドを頂きながら、夕張新炭鉱の通洞跡・慰霊碑など清陵町を歩く。

### お申し込み方法

メールまたは電話にて、①お名前②ご住所③電話番号④参加希望の日程(全日程/15日のみ/16日のみ/オンライン)⑤15日エクスカーション参加(有・無)⑥16日のお弁当希望(有・無)をご連絡ください。

### お申し込み・問い合わせ先

メール info@shimizusawa.com 件名:10月鹿之谷ゼミナール申し込み

電話 0123-57-7463(一般社団法人清水沢プロジェクト)090-2622-4455(夕張地域史研究資料調査室)

※定員に達し次第、受付を終了します。感染症対策のため、お申し込みが無い方はご参加いただけません。